農業分野でのALOSへの期待

東北大学大学院農学研究科 齋藤元也

農業分野衛星関係者の現状

格差社会の増大

衛星データは豊富なのか？ お金があれば豊富。

農業分野：現在利用可能センサASTERのみ。

農業：広範囲の時系列データが必要で、関係者は、瀕死状態。

ALOSへの期待（多量・格安データ、後継ミッション）

1. 管理：日本型精密農業の構築
2. 統計：世界の水田把握
3. 資源：遺伝資源探査（RS・GIS・GPSの利用）
4. インフラストラクチャ：農地保全方策、開発適地選定
5. 環境：砂漠化のモニタリング
6. 防災：干ばつ、洪水監視